学校番号	１０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『高等学校　世界史探究』（第一学習社）						
副教材等	『ニューステージ　世界史詳覧』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史から、あなたは何を学びたいと考えているだろうか？　歴史上の人物の生きざまから自分自身の生き方を考えたり、社会の変遷から人類の普遍性や教訓を見出したりなど、各々の受講者の個性から発する学びに期待している。

学習については、歴史上の諸事象を考察するには正確な知識が必須であることから、知識習得のための“暗記”は求める。また、身につけた知識を活かして考える機会・考えを述べる機会も設けるので、他人と異なることを恐れずに“自分なりに考えたこと”を大切にしてもらいたい。

世界史探究を通して、これまで人類が積み重ねてきた歴史に敬意と誇りをもつとともに、これからの自分や社会をどうつくっていくかについて思いをめぐらせてほしい。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で平和的・民主的な国家及び社会を形成する主体者に必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・世界史の諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連させながら理解できるとともに、諸資料から世界史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。

・世界史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義・特色などを、時期や年代・推移・比較・相互の関連や現代世界とのつながりに着目しながら概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史的な課題を把握して解決を視野に入れて構想する力や、考察・構想したことを効果的に説明する力、それらをもとに議論する力を身につける。

・世界史の諸事象について、よりよい社会の実現をめざして課題を探究しようとする主体的態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚、自国の歴史に対する愛情、世界のあらゆる文化を尊重する態度を身につけ、深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界史の諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連させながら理解しているか。 ○諸資(史)料から世界史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめているか。	○世界史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義・特色などを、時期や年代・推移・比較・相互の関連や現代とのつながりに着目しながら概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史的な課題を把握して解決を視野に入れて構想しているか。 ○考察・構想したことを効果的に説明しているか。 ○上記をもとに議論しているか。	○世界史の諸事象について、よりよい社会の実現をめざして課題を探究しようとする主体的態度が身についているか。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して、市民としての自覚や祖国の歴史に対する愛情、世界のあらゆる文化を尊重する態度を深めているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	世界史へのまなざし	1.地球環境から見る人類の歴史 2.日常生活から見る世界の歴史	a:①人類の歴史と地球環境との関わり、②身の回りの諸事象から見た日常生活と世界史とのつながりを理解している。 b:①地球の歴史における人類史の位置づけと特性、②身の回りにある事象の来歴や変化と世界史との関連について考察し、表現している。 c:諸資（史）料を活用し、課題を追究・解決する活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 学習の自己評価
	諸地域の歴史的特質の形成	1.諸地域の歴史的特質への問い 2.古代文明の歴史的特質 ・西アジア文明、インダス文明、中華文明 3.諸地域の歴史的特質 ・アジア、ヨーロッパ ・仏教、ヒンドゥー教、キリスト教、イスラーム	a:①古代文明の特質、②諸宗教の成立から見た諸地域の歴史的特質を理解している。 b:①自然環境と生活・文化との関連、農耕・牧畜の意義、②古代における社会や文化の特色について考察し、表現している。 c:諸資（史）料を活用し、課題を追究・解決する活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 学習の自己評価
2	諸地域の交流・再編	1.諸地域の交流・再編への問い 2.結びつくユーラシアと諸地域 ・イスラームの伝播 ・ヨーロッパ封建社会 ・モンゴル帝国の拡大 ・アジア海域での交易の時代 ・東アジアの動向(明) ・スペインとポルトガルの活動 3. アジア諸地域とヨーロッパの再編 ・イスラーム諸帝国 ・東アジアの動向(清) ・宗教改革 ・大西洋三角貿易 ・科学革命と啓蒙思想	a:政治・経済・文化・科学分野における発展や地域間の交流と再編について、諸資料から情報を読み取り、まとめている。 b:諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c:諸資（史）料を活用し、課題を追究し・解決する活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 学習の自己評価

	諸地域の結合・変容	1.諸地域の結合･変容への問い 2.世界市場の形成と諸地域の結合 ･産業革命と環大西洋革命 ･自由主義とナショナリズム ･イギリスを中心とした自由貿易体制 ･アジア諸国の植民地化と諸改革 3.帝国主義とナショナリズムの高揚 ･帝国主義諸国の抗争 ･アジア諸国の変革 ･第一次世界大戦とロシア革命 ･ヴェルサイユ＝ワシントン体制成立 ･アメリカ合衆国の台頭 ･アジア･アフリカのナショナリズム 4. 第二次世界大戦と諸地域の変容 ･世界恐慌 ･第二次世界大戦と戦後国際秩序	a:人々の移動と経済におけるグローバル化、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料から情報を読み取り、まとめている。 ①国民国家と近代民主主義社会の形成、②世界市場の形成とアジア諸国の変容、③ナショナリズムの高まりと第一次世界大戦の展開、④第二次世界大戦へといたる展開と大戦後の世界について、構造的に理解している。 b:諸地域の結合・変容に関わる諸事象を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 ①大西洋両岸諸地域の動向、②世界市場の形成とアジア、③世界経済の構造的変化、列強の帝国主義の共通点・相違点、アジアのナショナリズム、④第一次世界大戦後の国際協調主義、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカのナショナリズム、⑤第二次世界大戦に向かう国際関係の変化、⑥第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立について考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究し・解決する活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 学習の自己評価

3	地球世界の課題	1.地球世界の課題への問い 2.冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ・アフリカの年と第三世界 ・南北問題 ・集団安全保障と冷戦 ・多極化 3.国際秩序の変容と経済のグローバル化 ・アメリカ合衆国の動揺 ・資源ナショナリズム ・南南問題 ・冷戦終結と地域紛争 ・経済のグローバル化 4.科学技術の高度化と知識基盤社会 ・原子力、宇宙探査、バイオテクノロジー、人工知能、情報通信技術 5.地球世界の課題の探究 ・共生と格差の是正	a:核を含む科学の発達、グローバル化、紛争などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりしている。 ①冷戦の展開と大戦後に独立した国々に残された課題、②1970年代以降の世界の政治・経済の変容、③知識基盤社会への移行と課題、④持続可能な社会の実現をめざすうえでの地球世界の課題について、歴史的経緯をふまえて理解している。 b:地球世界の課題を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 ①冷戦と第三世界の台頭、②アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズム、先進国における産業構造の転換、新興地域における経済成長と格差拡大、③現代の科学技術や文化の歴史的特色、科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化、④地球世界の課題形成に関わる歴史について、考察・構想し、表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究し・解決する活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 学習の自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度